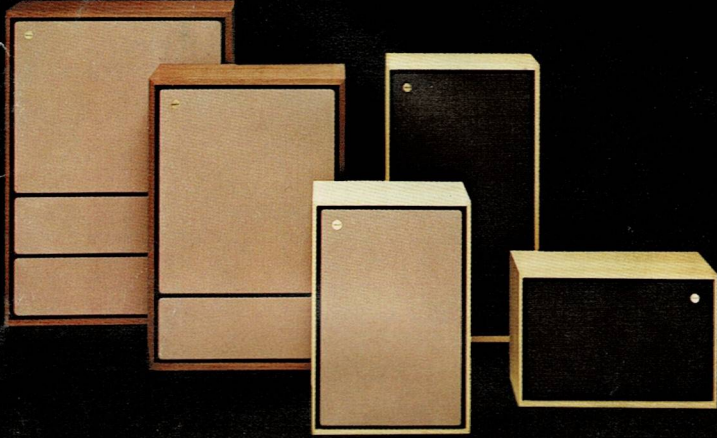


TANNOY



TEAC



タンノイの歩み

イギリスの栄光を象徴するクイーン・エリザベスII世号。この世界最大の豪華客船が装備している音響システムと通信システムは、すべてタンノイが製造したものです。平和を象徴するニューヨークの国連ビル。言葉を超えて世界の人々の友好のきずなともいえる6ヶ国語同時通訳システムも、タンノイの手によるものです。これらは、タンノイの知られざるほんの一面に過ぎません。

タンノイは、1926年、ガイ・R・ファウンティンによって創立され、ファウンティンが発明した電解整流器に使用するタンタラム=アロイという金属の名に因んで、タンノイと命名されました。この発明によって、当時、バッテリー動作のラジオで聞いていたBBC放送が、電灯線を電源にして受信できるようになったのでした。

1933年、PAシステムの設計、製造を業務とするタンノイは、今日のハイ・ファイ用スピーカー・システムの基礎になったツイン・スピーカー・システムと呼ばれる画期的なスピーカーの開発に成功し、半世紀におよぶ栄光の歴史の第一歩を踏み出したのです。それからわずか数年後の1937年に、由緒あるロイヤル・アルバート・ホールにタンノイのスピーカー・システ

ムが採用されたのは、タンノイがその時すでに絶対的な信頼性を勝ち得ていたからに他なりません。

第二次世界大戦中、完璧ともいえる通信システムをイギリス空軍と海軍に供給していたタンノイは、大戦の終了とともに、ハイ・ファイ・システムの分野に進出。イギリスの下院と貴族院、カナダやインドの立法院ホール、ルーマニアの首都ブカレストの国立オペラ劇場などにタンノイの音響システムがつつぎと採用されました。特に、数百のスピーカーシステムで構成されたブカレストの国立オペラ劇場の音響システムにタンノイが選ばれたことは、タンノイに対する高い評価を裏付けるものでした。

半世紀にわたって音質のすぐれたスピーカーを造りつづけてきたタンノイは、豊富な経験に、さらに近代的な技術と厳重な品質管理の手法を導入して、タンノイ独自のデュアル・コンセントリック方式を磨き上げてきました。そして、ヨーロッパの主なレコード会社、録音スタジオ、放送スタジオでモニター・スピーカーとして広く採用されるとともに、世界中の至るところで、音楽愛好家の熱狂的な支持を受けています。

タンノイの名声を支えるもの

タンノイのスピーカー・ユニットは、すべて、熟練した職人たちの手造りになるもので、ボイス・コイルの巻線から、ダンパーやエッジの接着、最終的な組み立てにいたるすべての作業が、血のかよった人間の手で丹念におこなわれています。

典雅とも優美とも形容される気品のある豊かな音色に、スケール感と現代的な味わいを深めたタンノイのスピーカーに対する名声は、名人芸的な技巧を身につけた職人たちの手で支えられているともいえましょう。

タンノイは、きわめて進歩した科学的な研究設備をもっていますが、人間の耳は最も信頼できる重要な測定器の一つであるという創業以来の信念を今日も実践しています。音楽を音楽として人の心に伝えるため

には、スピーカーを造る人びとが、音楽の内面を深く把握し、それに共感できる心を持っていなければなりません。そうした心があつてこそ、オーケストラの激しい生命の躍動を、スピーカーの再生音としてよみがえらせることができます。

タンノイは、豊饒な音楽的土壌の中に生まれ、育ってきました。そして、スピーカー・システムから再生される音楽に、音楽以外の音が附加されることも、音楽としてあるべき音が少しでも欠けることも、かたくなに拒否しつづけてきました。音楽を愛するものにとって、それは音楽の冒瀆にも等しいからです。タンノイの名声を支えているものの一つは、タンノイの耳であるといつても過言ではありません。

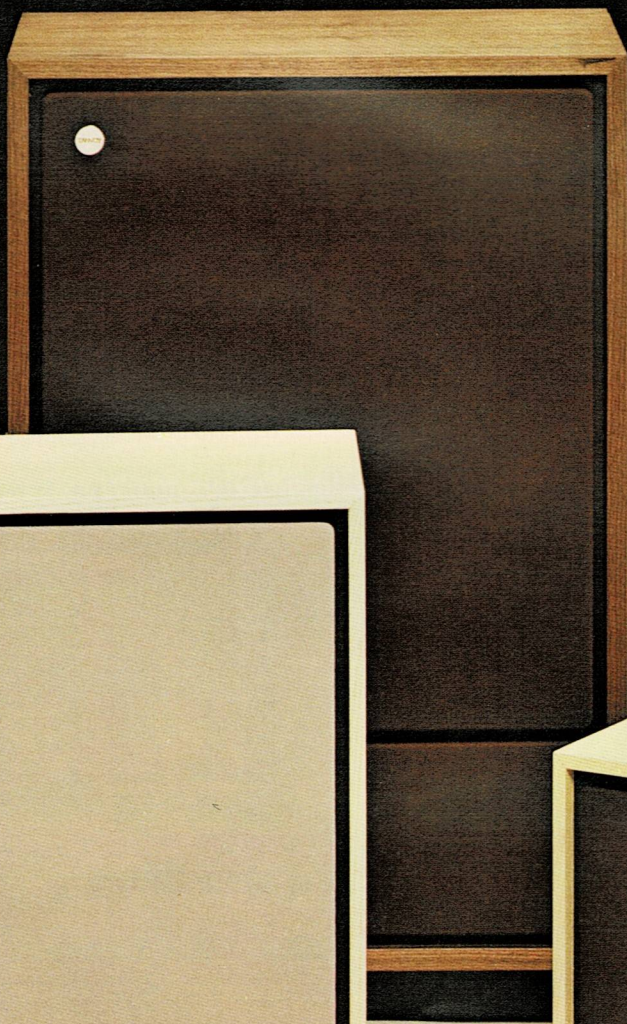


ヨーロッパの歴史と伝統に培われたスピーカーシステム

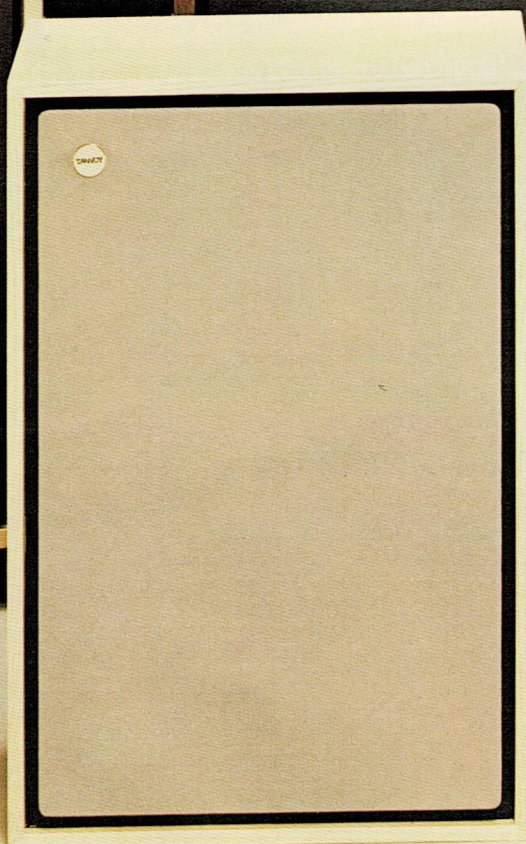
Cheviot



Berkeley



Arden



Devon



Eaton



洗練された現代的なデザインで飾られたエンクロージャーは、国際的なデザイナーで、イギリス王立工業デザイナー協会のジャック・ハウと、タンノイの音響技術陣とが共同で設計したものです。スピーカー・ユニットの性能を十分に発揮させることはもちろん、より豊かな生活空間をテーマにデザインされたヨーロッパ調の落ち着いたたたずまいは、タンノイの優美な音色にふさわしいものといえましょう。

Arden アーデン

¥220,000

アーデンは、イギリス第二の都市バーミンガムの郊外に広がるアーデンの森の雄大なたたずまいに因んでいます。

HPD 385Aユニットのすぐれた性能を十分に発揮するように設計された最も大型のフロア・タイプで、3本のダクトによってなめらかでよく伸びた重低音の再生をスムーズにし、エンクロージャーの内部を補強して、大編成オーケストラの迫力あるフォルティシモも色づけなく再現するように考慮されています。録音スタジオのモニター、家庭の大型装置に対応するシステムです。

Berkeley バークレイ

¥180,000

バークレイの愛称の由来は、ブリストル湾に注ぐ豊かな流れセヴァーン川にそって景観を展開するバークレイの谷。

許容入力が大きく、能率のよいHPD 385Aユニットを使用しており、2本のダクトによる低域特性の素晴しさは注目すべきものがあります。再生音の品位の高さとスケール感はアーデンに匹敵し、オーケストラの白熱した演奏をなまなましく再現します。

フロント・グリルは二つにわかれており、クロスオーバー・ネットワークの調整に便利です。

Cheviot チェビオット

¥140,000

イングランドとスコットランドの境界をなす広大なチェビオットの丘には、いまでもローマ時代の古城が点在しています。

チェビオットは、タンノイのフロア・タイプでは最も小型のシステム。大許容入力のHPD 315Aユニットを使用しており、家庭用の大型装置に理想的なシステムです。低域のチューニングは、1本のダクトで行なわれ、ユニットの高域特性の優秀性とあわせて、全帯域にわたるバランスの良さが魅力です。

Devon デボン

¥120,000

イギリスの最南端はデボン州、温暖な気候と海岸の美しい風景に恵まれたところで、地質学のデボン紀という呼称もこの地に由来しています。

デボンは最も大型のブックシェルフ・タイプ。60ワットの許容入力をもつHPD 315Aユニットが使われており、大型のフロア・タイプに劣らない充実した再生音を実現しています。ベースの張りのある重低音、ドラムスの鋭い衝撃音、ピアノの美しい中音、それぞれをシャープに再現するシステムです。レコード会社や放送局などの移動モニタースピーカーとしても使われています。

Eaton イートン

¥80,000

二千年前にローマ人が築いたという城壁に囲まれた古都チェスターの近郊、イートンの小さな町並にも永い歴史が刻まれています。HPD 295Aユニットのすぐれた性能を生かしたイートンは、ブックシェルフ型の新しい標準システムとして定着しつつあります。このサイズではかつて考えられなかった重厚な低音は、イートンの際立った特長の一つで、限られたスペースで、タンノイの名称とともに連想される、伝統的な自然で充実した再生音を楽しむことができます。

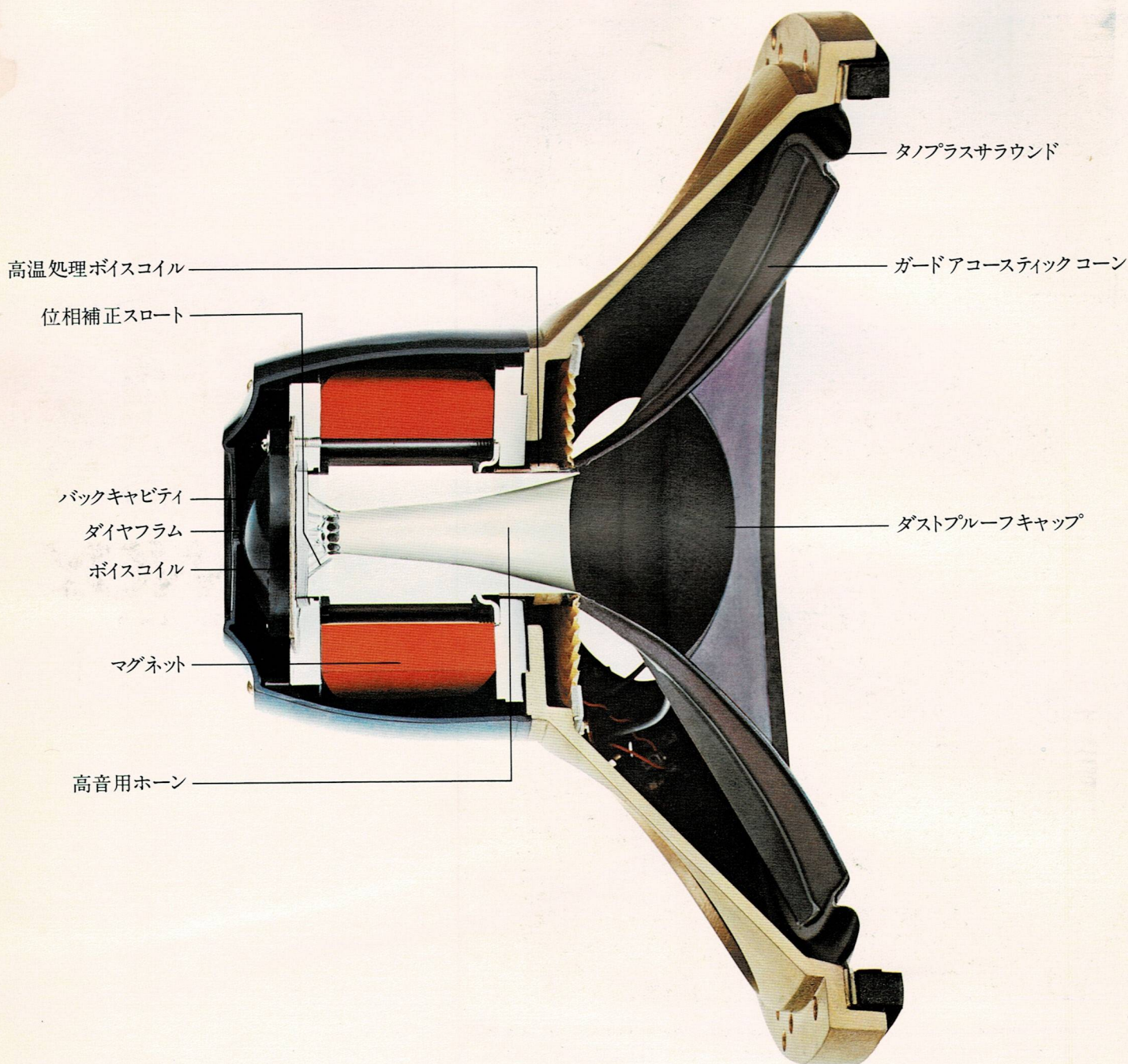
TANNOY HPD Series

音像の分解能、定位感がすぐれた同軸型2ウェイ方式

ハイ・パフォーマンス・デュアル・コンセントリック (HPD) と呼ばれるタンノイ独自の同軸型2ウェイ方式は、ダイレクト・ラジエーターのウーハーとホーン・ロードのツイーターを、1個の強力なマグネットをはさんで同軸上に組み合わせただけのものです。

タンノイが永年にわたって磨き上げてきたこの完全な同軸型は、ウーハーとツイーターの2個のユニットから別々に放射された音が同じ点で合成されるために、音像の分解能、定位感がすぐれ、自然な音場を再現できる大きな利点があります。

タンノイの伝統的な豊潤で自然な音色の最大の秘密、それはタンノイが半世紀にわたってかたくなに固執し、磨きつづけてきたタンノイだけのユニークな構造にあります。



マグネット

HPDユニットには、非常に強力な Alcomax 5 マグネットが採用されており、ダンピングのすぐれた再生音を保証しています。

① ガードアコースティック・コーン

ウーハーのコーン紙は西ドイツのクルト・ミュラー社製の特注品です。薄いコーン紙に特殊な薬品をコーティングし、裏面に8本のリブを放射状に接着、補強したタンノイ独自のものです、ガードアコースティック・コーンと呼ばれています。

周波数特性とトランジェント特性をいじりく改善した特殊コーン紙を、8本のリブが、ハイ・パワー駆動時の破損から保護しています。

(HPD385AおよびHPD315Aのみ)

② タノプラス・サラウンド

特殊な高分子系の材料を独自の形状に成型したエッジが、タノプラス・サラウンドと呼ばれるものです。柔らかで、かつ強度がすぐれ、重低音の再生をスムーズにし、再生音を歪ませるコーンのエッジ部での共振を抑えています。

③ ボイス・コイル

手で一つ一つ丹念に巻かれたボイス・コイルは、200度の高温に耐える特殊な処理がほどこされています。

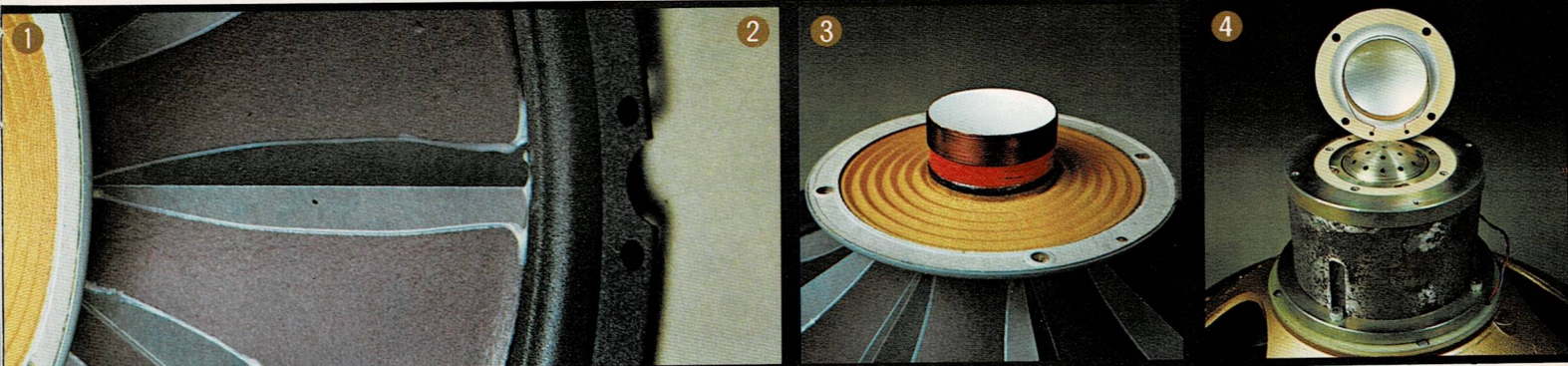
したがって、ボイス・コイルの機械的な強度が増加すると同時に、連続的な大入力による温度上昇に対して安全性が飛躍的に向上し、ハイ・パワー駆動が可能になっています。

④ ツイーター

ロール状のエッジまで一体プレスした軽量硬質アルミニウム合金の逆ドーム型ダイアフラムと、アルミニウム線のボイス・コイルとからなっています。振動系の軽量化で高域の周波数特性とトランジェント特性の向上を

はかるとともに、ダイアフラムの反対側に音響的にバランスがとられた空洞を設けて、ひずみを軽減しています。

ホーンのネックにあげられている19個のスロートで位相の補正をおこなっており、ウーハーのコーン紙はツイーターのホーンの延長としての役割りも果たしています。ダストプルーフ・キャップは音響的には透明です。



HPD385A
¥100,000



HPD315A
¥80,000



HPD295A
¥60,000



定格	品名	HPD385A	HPD315A	HPD295A
許容入力(連続プログラム)		85w	60w	50w
公称インピーダンス			8Ω	
出力音圧レベル(新JIS)		91dB/w	89dB/w	87.5dB/w
クロスオーバー周波数		1,000Hz(12dB/oct)		
最低共振周波数		20Hz	20Hz	22Hz
口径		385mm(15")	315mm(12")	295mm(10")
重量		14kg	8 kg	7 kg

ユニットには専用クロスオーバーネットワークが付属しています。

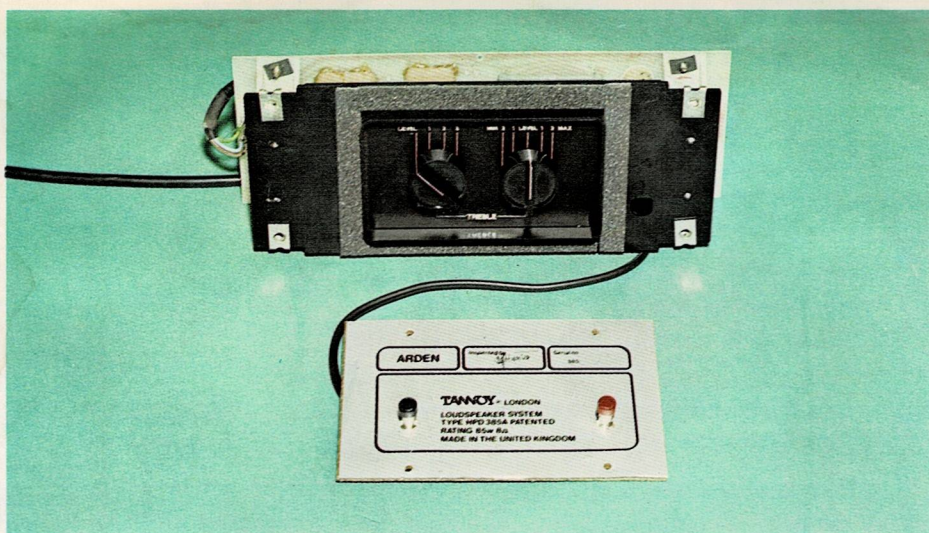
調整範囲の広い

クロスオーバー・ネットワーク

前面バッフルに取り付けられているクロスオーバー・ネットワークは、「ロール・オフ」と「エナジー」の二種類の調整が可能です。「ロール・オフ」調整は、5kHz以上の高い周波数を4段階に減衰でき、「エナジー」調整は、1kHzから20kHzまでの ツイーターのレベル全体を5段階に増減できます。それぞれの調整つまみの LEVELの位置がノーマル・ポジション、つまりフラットな周波数特性が得られます。

周波数特性の変化範囲が広く、かつ多様な調整ができるタンノイのネットワークは、リスニング・ルームの音響特性を補正したり、リスニング・ポジションに応じた最上の音質を選択できるほか、あらゆるジャンルの音楽を広くカバーできる機能をそなえています。

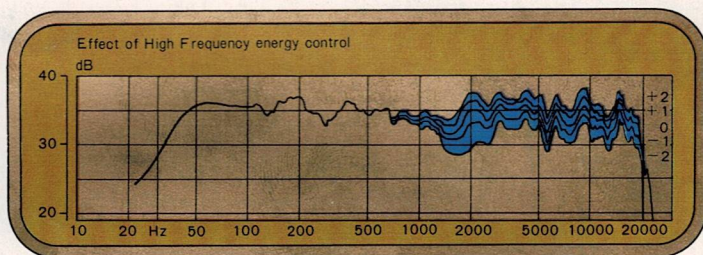
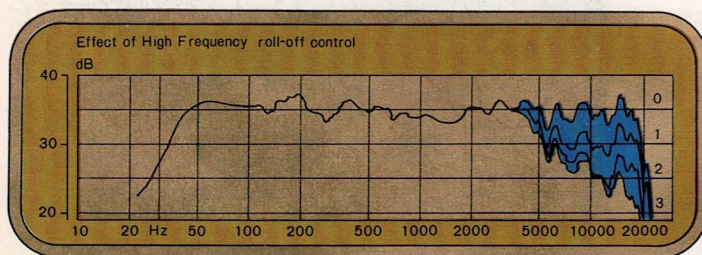
クロスオーバー・ネットワークの品質はスピーカー・システムの音質を大きく左右します。タンノイのクロスオーバー・ユニットは、使用部品を



厳選し、厳重な規格にしたがって作られており、低損失の無極性コンデンサーと、容量が大きく精度が高い抵抗やコイルを使用し、信頼性の高いファイバーグラスのプリント基板に組

み立てられています。

したがって、ユニットの特性の誤差が少なく、温度特性も考慮されていますので、連続的な大入力にも十分耐えることができます。



仕様

定格	品名	Arden	Berkeley	Cheviot	Devon	Eaton
使用スピーカー		HPD385A		HPD315A		HPD295A
許容入力(連続プログラム)		85w		60w		50w
公称インピーダンス		8 Ω				
再生周波数帯域		30～20,000Hz	35～20,000Hz	40～20,000Hz	45～20,000Hz	50～20,000Hz
出力音圧レベル(新JIS)		91dB/w		89dB/w		87.5dB/w
クロスオーバー周波数		1,000Hz(12dB/oct)				
仕上		WALNUT, TEAK		WALNUT, TEAK, ASH		
フロントグリル		BROWNまたはSAND				
外形寸法(幅×高さ×奥行)		660×990×370(mm)	540×840×310(mm)	450×850×260(mm)	400×580×260(mm)	350×520×250(mm)
重量		43kg	32kg	25kg	17kg	14kg

取扱店

便利なティアッククレジットをご利用ください。

■技術的なお問合わせ、ご相談は「テーブルデスク相談室」へ (0422)53-9213(直通)：〒180・東京都武蔵野市中町3-7-3

ティアック株式会社

営業本部 180・東京都武蔵野市中町3-7-3
本社 電話 武蔵野(0422)53 1111(代)
東京営業所 100・東京都千代田区永田町2-10-7
星ヶ岡会館・電話 東京(03)592-1831(代)
横浜営業所 221・横浜市中区東山通1-1
高島台第一ビル・電話 横浜(045)312-3270(代)
立川営業所 190・立川市栄町4-13-2
電話 立川(0425)25-4721(代)
大阪営業所 556・大阪市浪速区元町2-27-15
阪本ビル・電話 大阪(06)649-0191(代)
神戸出張所 650・神戸市生田区山本通3-18
谷口マンション内・電話 神戸(078)242-2458
名古屋営業所 454・名古屋市中区東山通9-3-2-3
電話 名古屋(052)782-4581(代)
静岡出張所 420・静岡市中島大町2-8-1-1
電話 静岡(0542)81-6561
広島営業所 730・広島市富士見町16-15
信和ビル・電話 広島(0822)43-3581(代)
福岡営業所 812・福岡市博多区博多駅東2-17-5
セリメンビル・電話 福岡(092)431-5781(代)
仙台営業所 980・仙台市一番町2-5-5
中央ビル・電話 仙台(0222)27-1501(代)
札幌営業所 060・札幌市中央区南7条西2丁目2
くぼたビル・電話 札幌(011)521-4560(代)